

コラム9

マルチドナー信託基金（MDTF）

MDTFは、CPAの実施および紛争被災地域を対象とした MDTF-N (National) と、南部スーダンを対象とした MDTF-SS (Southern Sudan) の2つの別々の基金からなる。

それぞれの基金は、国民統一政府 (GONU) と南部政府 (GOSS) が世界銀行の各事務所とともに別々に管理されている。MDTFはドナーの拠出金だけではなく、政府もその3分の2をそれぞれ拠出することになっている。

【管理および運営】

案件は、まず GONU または GOSS それぞれの政府で承認を受けた初期プロジェクト案 (IPP) をそれぞれの基金の技術事務局（事務局は世界銀行の南北両事務所）がスクリーニングしたあと、各監理委員会 (Oversight Committee: OC) の審査を受け、最終プロジェクト案 (FPP) として承認を受け、世銀事務所とプロジェクト申請機関（スーダン政府）の間で贈与契約を締結する。

承認された各プロジェクト資金は MDTF と GONU または GOSS 政府の双方から拠出される。OCでは、各政府側が議長、ドナーが副議長となっている。MDTF-N の副議長はオランダ、MDTF-SS は共同ドナーチーム (JDT) であった。

【拠出ドナー】

MDTF	拠出ドナー
MDTF-N (10 ドナー)	オランダ、ノルウェー、イギリス、スウェーデン、ギリシャ、イタリア、アイスランド、カナダ、スペイン、世界銀行 ¹
MDTF-SS (15 ドナー)	オランダ、ノルウェー、イギリス、スウェーデン、ギリシャ、イタリア、アイスランド、カナダ、スペイン、EU、フィンランド、ドイツ、デンマーク、エジプト、世界銀行

¹ 世界銀行はスーダンが多額な債務を抱えているため通常の資金協力はできないが、MDTFの資金管理のほか、MDTFにも LICUS (Low-Income Countries Under Stress) 基金と Post-Conflict Fund (PCF) から両 MDTF に拠出している。

【財務状況（2011年3月時点）】

(百万ドル)

	MDTF-N	MDTF-SS	合計
拠出額（2005-2007）	234.5	391.8	618.5
拠出額（2008-2011）	30.5	156.2	194.5
ドナー拠出合計	265	548	813
支払額	170	402	572
執行率	64.1%	73.3%	70.3%

出典：MDTF 各種報告書（世界銀行）より FASID 渡邊恵子氏作成

【MDTFによる復興・開発支援】

第3回スーダン・コンソーシアム(2008)においては、MDTF両基金のプロジェクト実施の遅れに対する不満がスーダン南北両政府およびMDTF拠出ドナーから資金管理をしている世界銀行に対して指摘されている。

遅滞の理由の一つは、MDTFの煩雑な世銀の調達プロセスと南部の深刻な人材不足、更に、南部に調達業者自体が居ないことも理由としてあげられている。プロセスを理解するまでに時間がかかり遅延が生じた。

もう一つの理由はドナーがタイムリーな拠出を行っていないという指摘もあった²。復興国においては迅速な援助実施、そして目に見える成果を国民に示すことが期待されているにも拘わらず、世銀の通常のプロセスを復興国に適用したこと自体が間違っていたとの指摘も多い。

ドナーおよびスーダン両政府ともMDTFへの期待が大きかつただけに、一定の成果への評価はするもののMDTFの実施の遅れはスーダン両政府に落胆と不満をもたらした。

(出典) Rehabilitation and Development in Sudan (World Bank)

以上

² 第1回スーダン・コンソーシアムで南部のMDTF-SSに約20億ドルがプレッジされたのにもかかわらず、5年が経ってもその約25%の5億2,400万ドルしか拠出されていない、という報告もある（Guardian新聞、2010年2月18日付記事）